

# お客様事例特集によせて



常務取締役

川崎 秀一

Hideichi Kawasaki

## 景気回復後の安定的な成長に向けて

バブル崩壊以来、低迷に喘いでいた日本経済もようやく先々に明るさを見出し、2005年末には約5年ぶりに日経平均株価が16,000円台を回復するなど、回復基調にあると思います。

依然として高止まりしている原油価格や金利の上昇、また2007年から始まると言われる、団塊世代の退職などの懸念材料があるものの、全体として市場の消費意欲が高まりを見せ、バブルの傷跡からほぼ立ち直ったと言える景気環境にあるのではないのでしょうか。

しかし、一方では「勝ち組」、「負け組」という言葉に象徴されるように、景気回復の恩恵を受けるものと、十分に受けられないものとに二極化した状況が生まれてくるとも言われております。この混沌としたビジネス環境の中で、安定した事業を継続し、かつ成長していくためには、いかにマーケットの声を的確に捉え、お客様の期待する商品やサービスをタイムリーに市場に送り出せるか、かつそれを効率的に行えるかということが命題となってまいります。

このために、インターネットに代表されるネットワーク技術やコンピュータ技術などのIT技術を使いこなすことも重要な鍵の一つとなってまいります。すなわち、これらのビジネスインフラを適切に構築し活用するのも、競争に勝つための大きな決め手の一つとなるわけです。

このような状況は、1990年代後半から全世界的に加速しており、ネットワークの持つ重要性は更に増しておりますが、インフラとして真に重要なことは、利用する「人」に対して、いかに価値を生み出してご提供できるかという点です。あくまでも主体は人であり、ネットワークを活用する人は、「いつでも、どこでも、誰とでも」必要に応じて価値を享受することが可能となる、このようなユビキタスネットワークこそが、「人」の持つ能力や可能性を飛躍的に強化し、ひいては企業活動を高度にしていく

ものであると考えます。

ユビキタスネットワークは、2004年に総務省がネットワーク社会の将来像と、その実現に向けた計画として「u-Japan政策」を掲げ、官民一体となって推進されてまいりました。これは人とモノ、モノとモノ同士が互いに情報をやりとりすることにより、これまで考えられなかった新しい価値を生み出すものとして、また人に優しく、個性を尊重する安全な社会を生み出すものとして注目を集めていることは、皆様も既にご承知のことと思います。

これは同時に、日本がこれから世界に向けて発信していく強みの分野の一つでもあるわけです。

## 沖電気の考えるネットワークソリューション

沖電気は情報と通信の融合する分野における最先端ソリューションカンパニーとして、「ネットワークソリューションの沖電気」の企業ビジョンのもと、ブロードバンドネットワークにより日常の生活、そしてビジネスが変貌する社会、「e社会<sup>®\*1)</sup>」を提唱して取り組んでまいりました。

「e社会」とは、「個」が中心となり、「個」が主役となる社会であり、そこでは誰もが安心・安全に、欲しい情報を望む形で得られるようになります(図1)。

企業活動を支える最大の財産である「人」が、「個」として力を自在に発揮するとき、真に創造的かつ高付加価値的な活動が促され、企業と人々が共に歩んでいく、安定した成長基盤が実現されるものと考えます。

私ども沖電気では、ユビキタスネットワークの推進を通じて「e社会」の実現を目指してまいりたいと考えております。

そして、この「e社会」でコアとなる沖電気の情報通信融合ソリューションコンセプトが「AP@PLAT<sup>®\*2)</sup>」です。

\*1)e社会は沖電気工業株式会社の登録商標です。 \*2)AP@PLATは沖電気工業株式会社の登録商標です。

「AP@PLAT」は、情報(IT)と通信(IP)の融合により、音声・データ・映像を活用した臨場感あふれるコミュニケーションと、コンピュータ、業務アプリケーションとを融合させることで、お客様のワークスタイルを変革し、お客様に新たな価値をご提供していくものであります。

これにより

- 変化への柔軟な対応による、お客様の『ビジネス機会の増大』
- 「企業」「個」の活動のスピードアップによる『業務効率の向上』
- 多様なパートナー連携による『新規事業の創出』

を実現し、お客様のビジネス開花のお手伝いをさせていただくことを目指してまいります。

### お客様事例特集

このお客様事例特集では、沖電気がユビキタスネットワークの実現に向けて、お客様と一緒に構築してきたシステムの事例をご紹介させていただいております。IP CONVERGENCE<sup>®\*3)</sup> Server SS9100を使った最新のモバイルセントレックスご導入事例、またトリプルプレーによるグローバルな環境での効率的なコミュニケーションシステムのご導入事例、お客様に安心と安全をお届けするセキュリティシステムのご導入事例など、お客様と共に歩み、お客様の立場でソリューションを創出していく沖電気の姿を実感いただけるものと確信しております。

沖電気は、これからもお客様とのコラボレーションによって「e社会」の実現に向けて邁進していく所存でございます。尚一層のご指導、ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



図1 e社会

\*3) CONVERGENCEは沖電気工業株式会社の登録商標です。